



AE減水剤 高機能・スランプ保持タイプ フローリックSL20S・R

フローリック SL20S およびフローリック SL20R は、従来の AE 減水剤高機能タイプと比較して、スランプ保持性能を格段に向上させた AE 減水剤です。これにより、長時間の運搬および場内待機に伴うスランプの低下を懸念することなくポンプ圧送、打込み、締固めおよび仕上げを容易に行うことが可能です。

フローリック SL20S は、JIS A 6204（コンクリート用化学混和剤）の AE 減水剤標準形（I 種）に適合し、フローリック SL20R は同規格の AE 減水剤遅延形（I 種）に適合します。

特 長

- 従来の AE 減水剤高機能タイプと同様に、優れた減水効果により、単位水量を低減できます。
- 従来の AE 減水剤高機能タイプと比較して、スランプ保持性能に優れて長時間良好なワーカビリティを確保します。
- 従来の AE 減水剤高機能タイプと比較して、凝結時間を大幅に遅延することなくスランプの保持が可能です。
- コンクリートの運搬時間が長時間となる場合も、良好なフレッシュ性状を確保できます。
- 遅延形の SL20R は暑中コンクリートのコールドジョイント防止に有効です。

物 性

銘柄	区分	主成分	外観	塩化物イオン(Cl)量* (%)	アルカリ量* (%)	密度 (g/cm ³)
SL20S	標準形	リグニンスルホン酸塩、 オキシカルボン酸塩、 ポリカルボン酸系化合物	黒褐色液体	0.01	0.7	1.04 ~ 1.12
SL20R	遅延形		黒褐色液体	0.01	0.8	1.05 ~ 1.13

*分析値例

使用方法および使用上の注意

- フローリック SL20S・R は、単位水量の一部として計算してください。
- フローリック SL20S・R の標準使用量は、結合材質量に対し 1.0wt%です。ただし、使用量は配(調)合、使用材料、ミキサの形状、練混ぜ時間およびコンクリート温度などの諸条件により変動しますので、使用目的に応じて結合材質量に対し 0.5 ~ 2.0wt%の範囲で、試し練りによって使用量をご確認ください。
- 上記範囲外で使用する場合には、事前に試し練りによって性状をご確認ください。標準使用量の 2 倍以上を使用しますと凝結時間が相当遅れる恐れがありますのでご注意ください。
- 連行空気量が少ない場合には、当社の AE 剤をご使用ください。AE 剤の使用量は当社担当者にご相談ください。
- 冬期には凍結にご注意ください。

性能

JIS A 6204 (コンクリート用化学混和剤) による試験*

試験項目	AE 減水剤 標準形 規定値	SL20S	AE 減水剤 遅延形 規定値	SL20R
減水率 (%)	10 以上	15	10 以上	15
ブリーディング量の比 (%)	70 以下	58	70 以下	58
凝結時間の差 (分)	始発	-60 ~ +90	+60 ~ +210	+ 90
	終結	-60 ~ +90	0 ~ +210	+115
圧縮強度比 (%)	材齢 7 日	110 以上	110 以上	130
	材齢 28 日	110 以上	110 以上	119
長さ変化比 (%)	120 以下	93	120 以下	83
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数%)	60 以上	94	60 以上	95

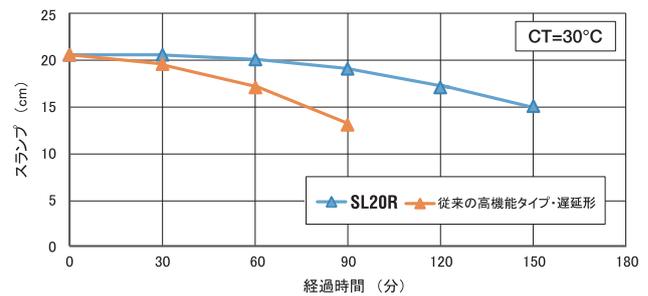
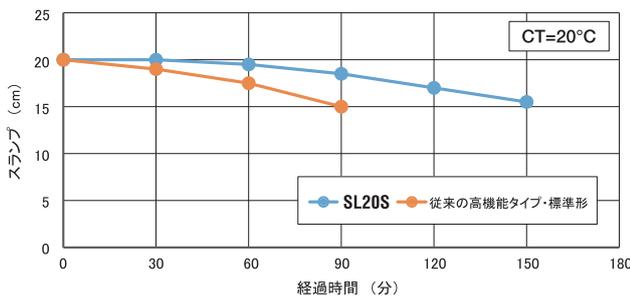
* (一財) 日本建築総合試験所で実施した試験結果

コンクリート試験結果例

混和剤 種類	添加率 (%)	W/C (%)	s/a (%)	単位量 (kg/m ³)			
				W	C	S	G
SL20S	1.0	54	48.4	178	330	838	920
SL20R	1.2	54	48.4	178	330	838	920

使用材料

セメント：普通ポルトランド 3 種等量混合 混合密度 3.16 (g/cm³)
 細骨材：掛川産山砂 表乾密度 2.57 (g/cm³) F.M. 2.60
 粗骨材：青梅産砕石 2005 表乾密度 2.65 (g/cm³) F.M. 6.72



スランプの経時変化試験結果例

取扱い上の注意

- 皮膚に付着した場合には、清水で洗浄してください。
- 飲み込んだ場合には、直ちに吐き出し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合には、清水で洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 詳細は、当社の安全データシート (SDS) をご覧ください。

荷姿

- タンクローリ・18kg 缶



本 社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-10-1 TEL.03-5960-6911 FAX.03-5960-6915
 ホームページ: <https://www.flowric.co.jp>

記載データは、標準的な材料を使用して行った試験結果です。使用材料、配(調)合および環境条件が異なる場合の状態を保証するものではありません。事前の試し練りなどで性能を確認することをお勧めします。